

児童朝会 校長の話 10月24日

明日までが読書週間ですが、皆さんは本を読んでいますか。

1ヶ月に何冊くらい本を読みますか？ 10冊以上読む人？（各クラス1～2名程度の手が挙がりました）あまり読んでいる人はいないようですね。

日本全国の4年生以上の小学生が、1ヶ月に何冊くらい本を読んでいるか調べた結果があります。昨年度行

われた調査で、平均12.7冊です。1.2冊から1.3冊読んでいます。30年前からのグラフですが、年々よく読むようになっていきますね。



中学生は5.3冊、高校生になると1.6冊。急激に減っていきます。中学生や高校生は忙しいのでしょうか。

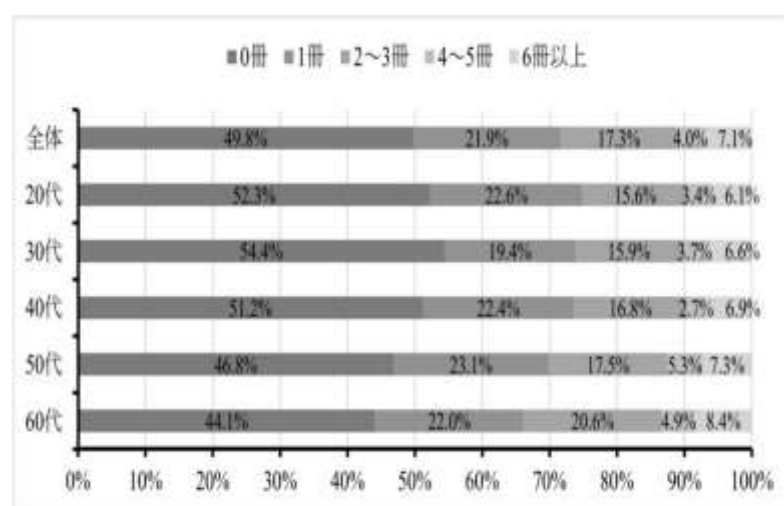
読書をするるとどんないいことがあるのでしょうか。たくさんありますが今日は3つお話しします。まず、読書はストレス解消になるそうです。調べてみると、読書をしているときは心も身体もリラックスしているそうです。夢中になって本の世界に入り込み、楽しむことができるからでしょうね。そして読書をするると脳が元気になります。本を見て字を読む。読んだことからいろんなことを想像する。さらにいろんなことを考えたり感じたりする。こうして脳のいろいろな部分が働いて脳がよく働くようになり元気になります。最後は、私たちの

毎日の生活の中で、読書することによっていろいろなヒントが得られます。生活や勉強、仕事などで困ったり悩んだりしているとき、解決するための手がかりを見つけられることがあります。

このように読書するといいいことがいろいろありますが、大人はどのくらい本を読んでいると思いますか。16才以上の大人について調べた調査があります。結果は、1ヶ月に1冊も本を読まない人が半分近くです。1・2冊読む人と合わせると全体の80%以上になってしまいます。



何才くらいの方が読まないか調べてみたら、残念ながら20代も30代も40代も50代も60代も半分くらいの方が本を読んでいません。大人になるとこんなに読まなくなってしまうのには驚きました。



みなさんは小学生のうちにとくさん本を読んで読書の楽しさを知って、大人になっても本を読んで欲しいと思います。

図2-1-1. 「現在」1ヶ月に読む本（紙媒体）の量 (q5-2) (各年代n=1,000, 全体N=5,000)

読書の秋ですね。気持ちのいい季節ですから、ゆったりした心で読書を楽しんでください。